

関東大震災 92 周年 虐殺された中国人労働者を追悼する集い (2015 年)



関東大震災から 92 年目の「関東大震災で虐殺された中国人労働者を追悼する集い」は、9 月 6 日午後 1 時より東京・水道橋の韓国 Y M C A で開催された。黙祷を捧げたのち、温州の遺族を代表して周松権さんと白秀蓮さんが挨拶され、王希天さんの遺族である王旗さんのメッセージが紹介された。中華人民



人民共和国駐日本国大使館 趙偉参事官 (写真) ならびに、社団法人日中協会 白西紳一郎理事長より来賓挨拶を頂いたが、大使館からご挨拶を頂いたのは初めてのこと。趙参事官は、「日本側がしかるべき政治的

道義的責任を引き受け、誠実にこのような歴史遺留問題に適切に処理し、実際の行動で歴史的反省の承諾を体現し、アジア各国人民と国際社会の信用を取り戻すことを希望」と訴えられた。温州総商会は紹介のみした。

李政美さんの歌 (ギター演奏矢野敏広さん) にあわせて行う献花も 3 回目となり、第一土曜に荒川河川敷で執り行われる追悼式参加と並んで、関東大震災で虐殺された韓国・朝鮮人受難者の皆さまとの連帯を確認する大切なプログラムとなっている。



温州から来日された研究者章志誠先生が「仁木さんと訪ねた受難の村々」と題して記念講演、続いて林伯耀さんが、「果たされない 1924 年の閣議決定」と題して問題提起をした。

前日の 5 日には被害現地参観。

7 日 (月) には、昨年の要望書に基づく対日本政府申し入れ (催促) をした。